

## <跡見学園女子大学 × 文京区 茗荷谷五協会商店街>

### キャンパスのお膝元「茗荷谷五協会商店街」の活性化に貢献 学生発案のスタンプラリーが昨日より開始

2016年10月3日(月)～22日(土) 文京区茗荷谷五協会商店街にて開催  
最終日10月22日(土)にはお楽しみ抽選会を実施予定

跡見学園女子大学(文京キャンパス:東京都文京区大塚1-5-2/新座キャンパス:埼玉県新座市中野1-9-6)文学部コミュニケーション文化学科 田中ゼミでは、茗荷谷五協会商店街と協働し商店街おこしを企画。その一つであるスタンプラリーが昨日10月3日(月)に開始しました。

本学、文学部コミュニケーション文化学科 田中ゼミでは「ITC時代における新しいコミュニケーションスタイルを探る」をテーマに実践的研究を重ねています。現代の学生は仮想現実を含めたネットリアリティを研究対象に選ぶ傾向があるため、あえて現実のコミュニケーションの場を研究対象とし「地元」に焦点を当てました。本学文京キャンパス近隣を共通の地元として捉え、文京区の課題を考察。その結果、住みやすい地域上位にランクインし、人口密度が高く、賑わっている雰囲気はあるものの、地元民の高齢化や転居者が多いことから、地元としての結びつきが弱まっているのではないかと推測しました。中でも、以前は生活の中心にあった商店街が、生活者の購買活動の変化や店舗の後継者不足等に伴い衰退し、今は社会問題となっています。これらの背景を踏まえ、田中ゼミでは商店街活性化企画を立案。本学から徒歩圏内にある茗荷谷五協会商店街に企画を20案提出後、提案した中からスタンプラリー企画が採用され、昨日10月3日(月)より開始しました。

スタンプラリーは、文京区が明治、大正時代に活躍した多くの作家や詩人、文豪ゆかりの地であることから大正時代の作品に描かれた当時の独特の雰囲気である「大正ロマン」をコンセプトに企画。大正ロマンの雰囲気に女子大生ならではの感性を加え、子どもから年配の方まで親しみを感じられるデザインや演出を施します。学生は本企画の運営にも携わっており、商店街加盟店役員との会議を重ね、各店舗へのスタンプラリー協力の依頼を行ったほか、マスコット、ポスター、スタンプ、スタンプラリー台帳、ステッカーのデザイン等を担当しました。



<田中ゼミ生による企画会議の様子>

スタンプラリーは東京メトロ茗荷谷駅や周辺の学校、商店街にてスタンプラリー台帳を入手後、商店街の参加店舗にて押印します。集まったスタンプの数に応じて抽選に参加でき、開催期間の最終日10月22日(土)にお楽しみ抽選会を開催します。また、当日はゼミ生がボランティアスタッフとして参加します。

本学では、座学のみではなく、実践的な活動を踏まえた教育である「教養実践」に重きを置いております。地域や地方、企業等との連携の中で研究内容を還元できる人材の育成と、学生の主体性を支援し、夢の実現へのサポートを続けてまいります。

◆大学に関するお問合せ先◆

跡見学園女子大学広報 TEL:048-478-3333 FAX:048-478-3111

# 茗荷谷五協会商店街 スタンプラリー 概要

## 【実施概要】

1. 開催日 2016年10月3日(月)～10月22日(土)  
10月22日(土)10時～16時 文京区窪町東公園カイザースラウテルン広場  
(茗荷谷駅前春日通沿い)にてお楽しみ抽選会を開催。
2. 開催場所 文京区茗荷谷五協会商店街  
(文京区小日向:東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅周辺)
3. 参加方法 ①東京メトロ茗荷谷駅や周辺学校、スタンプラリー提携店頭で専用台紙の入手。  
②スタンプ設置店舗にて専用台紙に押印。  
③スタンプが一定数集まったら景品と交換。  
※参加費無料
4. 参加店舗 文京区茗荷谷五協会商店街内 65店舗

## 【スタンプラリーデザイン】



スタンプラリーのデザインは、「大正ロマン」をコンセプトに現代のトレンドを理解した女子大生ならではの華やかで、少し懐かしく感じられるデザインとなっています。このデザインを活用したポスターや、スタンプラリー対象店と認識させるためのステッカーが茗荷谷駅や茗荷谷五協会商店街などに掲出されます。

## 【準備活動の様子】



各商店へスタンプラリー協力の依頼に足を運んだ他、スタンプラリーを実施する店舗の魅力探索などを実施しました。

## 【文学部コミュニケーション文化学科 田中ゼミ 活動事例】

田中ゼミ、文京区住環境課、本郷大横丁通り商店街の三者共同で今年度初めから進めてきた「文京区デザイン会議」の『本郷大横丁通り商店街のフラッグデザイン』に文学部コミュニケーション文化学科3年の学生が創作したデザイン案が最優秀作品に選ばれました。

商店街の旗印(フラッグ)となってすべての街路灯を飾っています。



担当教授 田中浩史コメント

このデザインフラッグの作成に当たり、ゼミ生たちは商店街に何度も出かけて店主たちと交流を重ね、若者が減って元気が無いこと、昔の賑わいや明るさを取り戻したいこと、人々が集まるシンボルがほしいこと、などの商店街の今の“心情”を聞きました。そこでデザインのコンセプトを「明るさ」「元気」「華やかさ」の3点としてゼミ生全員が様々な発想でデザイン案を作りました。最優秀作品には東田さんの作品が選ばれましたが、こうした経緯から考えると、このデザインフラッグはゼミ生全員の力が結集して完成させたものだとも言えます。

最優秀デザインフラッグについては、商店街の皆様からも「女子大学生らしい独創的で華やかな作品で商店街が明るくなった。人通りも多くなったのじゃないかな。」とうれしい感謝の言葉を頂きました。この経験でゼミ生たちは、若い自分たち学生のアイデアや力が実際に街を活気付けられる事実に驚き、ゲームや仮想の世界にはない現実の社会との結び付きに大きな喜びを実感していることと思います。皆々様に感謝です。